

町政懇談会のご意見・ご提言をご紹介します

町では、町民の皆さんと町の将来像や地域の課題などについて、率直な意見交換をする場として町政懇談会を開催しました。町内6会場で全7回開催し、延べ249人のご参加をいただきました。ご参加いただきました皆さんに心から感謝申し上げます。

今回の町政懇談会の中で町政全般について、皆さんからご意見・ご提言をお伺いさせていただきましたので、その一部をご紹介します。

今後も皆さんからの『声』を大切に、町政運営に努めてまいります。

■町政懇談会参加者数(延べ人数)

※受付簿より集計

開催日	会場	参加者数
5月10日(金)	信濃石会館	33人
13日(月)	子育て支援センター(旧三田川幼稚園)	27人
15日(水)	両神振興会館(両神庁舎3階)	44人
16日(木)	長若生活改善センター	23人
21日(火)	藤倉集会所	33人
24日(金)	小鹿野文化センター(昼間)	19人
	小鹿野文化センター(夜間)	70人
計		249人

■各会場でのご意見・ご提言

▶当町でも合併特例債を有効に使えば7割を国が持ってくれるから得だという考え方もあるが、地方債の返済と借入の関係で返済よりも借入が多い。よくわかるよう返済と借入の説明をして欲しい。

▶小鹿野町の25%が地デジ難民である。アンテナを建てても見えない家が1,200戸もある。「どうして見えない」ということを深掘して、その実態調査をしてもらいたい。大きな問題ということを認識して取り組んでもらいたい。

▶文化・観光の教育を小学校・中学校で取り組むことで小鹿野愛を植え付けることができると思う。

▶地域おこし協力隊の任期は3年で、まちおこしのために働いている。任期終了後に定着できる取組を考える必要がある。3年後の処遇を考えてもらいたい。

▶中学校の国際交流事業について、送り出すだけでなく訪問いただく機会も作ってもらいたい。

▶観光で一番力を入れていただきたいものは公衆トイレ。トイレの印象が良ければ女性が集まり、男性も集まる。

▶町で「健康寿命を延ばそう」というスローガンがあるが、もっとアピールする方法を考えてもらいたい。戦略的に健康寿命を延ばすようなことを考えたほうがよい。

▶シカ・イノシシの被害が年々増えている。カモシカは捕獲できないため増えている。駆除員も高齢化している。簡単な方法で害が少なくなるよう考えてもらいたい。

▶道路の穴を埋める合材を貰えれば地元で穴埋めはできる。地域の人で直せば愛着もわいて郷土愛も増す。

▶クライミング施設なら壁以外のスペースでコンサートをするとか、本来の目的以外に使うというアイデアを考えていったらどうか。

▶懇談会のイメージがだんだん悪くなってきている。これからの小鹿野はどうなる、日本の農村はどうなる、将来の展望のようなものを町民と懇談して、何か光のようなものを見つけるのがこの会の趣旨だと思う。町民の思いを引き出す懇談会にしてもらいたい。

▶長尾根トンネルを早急につくるようお願いしたい。

■お寄せいただいた自由提言書の内容

▶東京や県南と提携して小鹿野に老人ホームを作れないか。老人ホームがなくて困っている所と仕事なくて困っている所が売り手と買い手になれば良い。

▶行政区について、10年後くらいには一行政区として成り立たなくなると思う。

▶東京から近い田舎を売りに観光に力を入れて欲しい。

▶新庁舎を早く実現させ、役場職員を全員同じ場所で仕事ができるようにしてほしい。

▶クライミング施設は良い。家族で来られる施設にしてほしい。

※ご意見・ご提言の内容については、要約して掲載いたしました。また、紙面の都合上、すべてのご意見・ご提言を掲載することはできませんでしたのでご容赦ください。

問合せ ● 小鹿野庁舎・総務課 ☎75-1221



生活習慣病について⑯ 糖尿病の治療(低血糖について)

いよいよ糖尿病の話も今回で終了です。最後は低血糖について解説していきたいと思ひます。

人間の体を維持するためには糖(ブドウ糖)は不可欠です。一般的に血糖値は70-140 mg/dLの範囲で維持されています。しかし、糖尿病患者さんでは血糖値を一定に保つことが難しくなっています。血糖値が高くなりすぎているら合併症を起こしますが、実は低血糖の方が怖いのです。低血糖を放置すると短時間で意識障害を引き起こし、時に重大な後遺症を残したり、命の問題になることがあるからです。低血糖で命を落とすことがあるというのは、最近の事件で記憶にある方もいるでしょう。医療者は、意識がない人が運ばれてくると真っ先に血糖値を測定します。それは「糖尿病があるなしにかかわらず」です。

低血糖の主な症状は、発汗、動悸、手の震え、脱力感などがありますが、血糖値が低くなりすぎるとけいれんや意識消失(昏睡)を来し、時には前述のように命にも関わります。

低血糖の原因は一部の薬や不規則な生活です。糖尿病薬の中で低血糖を起こしやすいのは、主にSU剤(スルホニル尿素薬)という薬とインスリンです。ご自分の薬が低血糖を起こしやすいかどうかは、主治医の先生や薬剤師に確認しましょう。そして、暴飲暴食や極端なダイエットはせず、薬を飲んだりインスリンを打ったらしっかりと食べることです。体調が悪いのに薬だけ飲んでご飯を食べなかった、ということは低血糖のリスクが高くなります。調子が悪い時に薬を飲むかどうかの判断も必ず主治医の先生に相談してください。

長らく私の病気の話にお付き合いいただきありがとうございました。次回からは、当院の医師でいろんな話を持ち回りで解説していきたいと思ひます。お楽しみに。

内田の
気になるつぶやき
小鹿野中央病院長 内田 望



Let's Try ボルダリング〜クライミングによるまちおこし〜 VOL.2

2020年東京オリンピック・パラリンピックで正式種目に採用された「スポーツクライミング」。この競技はロープを使って12m以上の高さの壁をどこまで登れるかを競う「リードクライミング」、高さ10m程度の壁をいかに早く登れるかを競う「スピードクライミング」、そして5m以下の壁を制限時間内にいくつ登れるかを競う「ボルダリング」の3種類の競技を同じ選手が行うものです。

今回町で整備するのは「ボルダリング」です。これは、『①屋内競技であること②年齢や性別を問わないこと③ダイエット効果が期待できること』などから近年爆発的に人気上昇している競技です。町では、皆さんにストレスを発散してもらい、健康増進に役立ててもらおうと同時に、山岳観光の情報を発信することにより地域の活性化を図ることを目的に事業を進めています。

また、町内では昨年11月に「小鹿野クライミングクラブ・オガノボル」が結成され、技術の向上と競技の普及に奮闘しています。毎週月曜日に両神体育館で行っている練習会も、このクラブが主体的に行っているものです。ク



ラブでは新規会員を随時募集しています。興味がある方はぜひ、お出かけください!新しい出会いが待っています。

問合せ ● 小鹿野庁舎・総務課 まちづくり推進室
☎26-6581